



発行日/2016年2月18日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

23

みみよい

「あいつ」

施設長代理 楢 希代見

今年は暖冬と言われていましたが、「寒暖の差が激しすぎる冬」と言いたくなるほど、暦の上ではもう終わり。春はもうすぐそこまで来ているのでしょうか。

センターではこの時期、「事業計画」を作ります。この1年間の事業をふりかえり、改善や変更すべき点があれば、翌年の事業計画に盛り込みます。ビデオライブラリーの利用者数や、手話通訳・要約筆記の利用者数には目標値も定めます。

まだまだ、聞こえない・聞こえにくい人を支援する制度や機関があることをご存知ない方がたくさんおられると思います。不便な生活を「こんなもの」と思って暮らしておられるのでしょうか。福祉の世界では「アウトリーチ」という言葉が盛んに使われるようになりましたが、センターも、今まで以上に情報発信に努めなければならぬと思っています。

制度や支援を上手に活用して、無理して頑張らなくてもいい生活。「人として豊かな生活」に力を向けられるような事業を、これからも考えていきたいと思っています。



「聞こえの相談会」を開催しました！

2月6日、近畿大学医学部の土井 勝美先生をお招きし、「人工中耳」についてのお話を伺いました。「人工内耳」は認知されているかと思いますが、「人工中耳」はご存知ない方も多いのではないかと思います。それもそのはず、日本では3年前にようやく保険適用となったばかり。手術も80例ほどの新しい治療なのです。

今回は、BAHAとVSB、2つの方法をご紹介いただきました。BAHAは、インプラントを皮膚に埋め込み、そこにサウンドプロセッサを取り付けます。手術前に効果があるかどうかを試すこともでき、補聴器ができない中耳炎の方や、外耳道閉塞の方に適しているそうです。

講演後の質問にも丁寧に回答いただいた上に、急ぎよ、個別相談会も実施。聞きたいことがあっても、普段の受診ではなかなか言い出せずにいたことをゆっくり聞いていただき、アドバイスをいただくことができました。土井先生のやさしさが伝わってきた時間でした。次回のお約束も取り付けましたよ！みなさん、どうぞお楽しみに。



読めるかな？ 堺の神社シリーズです



堺市堺区にある
通称（天神さん）

菅原神社

堺戎（えべっさん）
としても有名



「みみサロン」を開催しました！

1月16日の「みみサロン」には、聴導犬と一緒に生活しておられる「聴導犬ユーザー」の安藤美紀さんと、現役の聴導犬「レオン」くんにお越しいただきました。MAMIE(マミー)の代表をされている安藤さん。活動の紹介や聴導犬の普及にと、インターネット上でパラパラ漫画やイラストを使われ、とてもわかりやすいサイトを立ち上げておられます。

当日、始まるなり「SNS(はやりのフェイスブックなど)でスクーターの「安藤美紀」に間違われた事がある」…など、笑いを誘う話し方。「これは絶対大阪の人!!」と思っていました。実は育ちは南の方。飼犬が音に反応するのを見ながら育ったので「音の語源(存在)は犬から教わった」とのこと。聴導犬の貸与も犬と一緒に生活したかったから、「全ての聴覚障害者に聴導犬が必要とは限らない」と話しておられました。



盲導犬や介助犬はユーザーの指示に従って動く

補助犬ですが、聴導犬は多くの音がある環境の中で、うまく「取捨選択」し、ユーザーに伝える「考える」犬なのです。聴導犬に助けられている聴覚障害者も増えつつありますが、残念ながら補助犬が施設やレストランの中に入るのを拒否されるケースがまだ残っています。また現状として関西では安藤さんを視覚障害者、レオン君を盲導犬と思ひ込み、道をあげたり横断歩道を渡るときに誘導しようとしていたり：ということが多くあるそうです。親切なのはとても嬉しいですが、正しく理解して関わって欲しいですね。「今日聞いたことはほとんど身近な人に伝えてく」と安藤さんも言っていました。

が、障害者の生活を支える補助犬の役割や素晴らしさも多くの方に知ってもらいたいですね。安藤さんがレオン君について、作られたパラパラ漫画もインターネットに掲載されていますので、興味がある方はぜひ探索してみてください♪。

【パラパラ漫画】 聴導犬って？



「もじサロン」誕生！

難聴者事業に取り組み中で、「聞こえにくいからわからない」、「手話が覚えられない」という悩みをたくさんお聞きしました。そこで、文字で情報を得て楽しめる場を作ろう！と、企画したのが「も

じサロン」。第1回は12月17日、スポーツセンターの村行伸氏に「シナプソロジー体操(認知症予防体操)」をご指導いただきました。16名の方にご参加いただきました。

講義は、講師の声を文字に換え、スクリーンに投影しながらゆっくり、ゆっくりと進みました。指先を回したり、左右の動きを変えたり、簡単そうに思えたのにだんだんと「でけへん…」という声！ 体育室をいっぱい使った歩いたり、ちょっとした汗？かきました。

講義が終わった後は、中途失聴・難聴者協会の紹介。「隣の人と友達になった」とおしゃべりしながら帰られる方も。次回は6月に開催予定です。お答えいただいたアンケートを参考に「もじサロン」ならではの企画を考えたいと思います。



第5回登録者合同研修会開催しました

2月2日、公益社団法人大阪聴力障害者協会理事
会相談役で、弁護士松本 晶行氏をお招きし、
登録手話通訳者・要約筆記者の合同研修会を開催
しました。2016年4月の差別解消法施行に合
わせ、社会がどのように変化し、登録通訳者とし
て、今後どのような心構えが必要なのか等、わか
りやすくお話をいただきました。

「合理的配慮」についてはまだまだ議論が必要
だと言われていますが、「合理的配慮があればす
べてプラスかと言えばそうでもない。別の視点で
はマイナスのこともある」というお話で例に上
ったのは、駅のエレベーターのお話。もちろん、
車いすの人が誰かに遠慮することなく外出でき
るのは「プラス」ですが、支援を求めて声をかけ
たまま出会った人たちが一緒に車いすを持ち
上げて階段を上る姿は見られなくなりました。ま
た、トイレが自動で流れるのは、手の障害がある
人には便利ですが、視覚障害の人は、手をかざす
タイプがあったり、離れるだけで流れるものがあ
ったりで、昔の「レバーを押せば流れる」トイレの
ほうが使いやすいかつたとの声もあるそうです。
「配慮」は、障害の種類やその人の背景によつて違
うもの。何が良い支援なのかを考えることが大切
だということが、参加者にもしっかりと伝わった
講演でした。
また、「何もしいないこと」が差別になるのだとい
うことも確認できました。聞こえない人たちは、聞
こえる人と対等に主張できる人ばかりではあり

ません。ご本人が主張できないとき、あるいは主
張することをあきらめている時、支援者としてど
のように働きかけていくのか。ご本人に、そして
周囲の人に伝えるためにどうすればいいのか。今
回の研修を考え方のベースとして、次年度もみな
さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

閲覧図書を追加しました!

昨年、「わが指のオーケストラ」、「聲の形」
など、聞こえない人たちの生活を描いたマンガ
をライブラリーに置きました。講座の待ち時間
などに利用いただいています。

今回、「わたしたちの手話 学習辞典」の一と
冊を購入。本棚に置いてあります。

手話の学習に役立ててくださいね。
※貸出図書ではありません。ライブラリーで
利用してくださいね。



ちよつとご紹介

今回スタートした「もじサロン」は、「文字情報
を使ってみんなできろんなことを楽しませよ
う」という企画。要約筆記を見ながらだと、聞こ
える人とはちよつと動きや返事が遅れてしま
う。でも、「文字サロン」なら大丈夫! みんなの様
子を確認しながら、ゆつくり進めます。来年度も開
催予定。ぜひご参加くださいね!



手話奉仕員・通訳者養成講座

修了間近！ もう一頑張りです

いよいよ今年度も各講座が終了を迎える時期となりました。9～10か月間の長期間、受講生の方も講師の方々もお疲れさまでした。

上級クラスが控えている方々は、来年度も講座が続きますが、そうでない方もせっかく覚えた手話は一生もの。手話サークルで多くの仲間と一緒に続けてくださいね。



要約筆記者養成講座

講座は終了。目指せ！登録者

1月13日、講演会での全体投影の学習を最後に、講座は終了しました。受講生のみなさん、お疲れさまでした。そして、講師・スタッフ・協会のみなさん、ご協力ありがとうございました。登録者をめざして試験に挑戦します。エールを送ってあげてくださいね！



センターの行事

2月27日(土) 10:30～11:30

「手話での絵本の読み聞かせ」

2月27日(土) 14:00～16:00

「難聴児の保護者学習会」

～聞こえない子どもの心理と

発達について～ ※申込制

3月11日(金) 13:30～16:30

「補聴器相談」

※ 要申込・先着3名

3月19日(土) 14:00～16:00

「みみサロン(上映会)」

～渚のふたり～

※申込制

毎週木曜日 12:30～12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」



秀人のおすすめ

「獄に咲く花」

1854年、激動の幕末期、吉田寅次郎(吉田松陰)は、黒船でのアメリカ密航を計画するが失敗し、長州・萩の武家専用牢屋敷の野山獄に投獄されます。

吉田松陰の弟、聴覚障害者である敏三郎役として、ろう俳優の江副悟史さんが出演しています。

「ハートネットTV ぼくたちのサイン」

～難聴のエースと仲間たち 最後の夏～

島根県の益田東高校野球部のエース廣中蒼磨(ひろなか そうま)君は先天性の難聴です。チームメイトとのコミュニケーションには、簡単な手話と指文字を使います。チームメイト80人全員が指文字を覚え、さまざまな工夫をして支え合ってきました。チーム一丸となって甲子園を目指す夏、蒼磨君と仲間たちの絆の物語です。



両張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

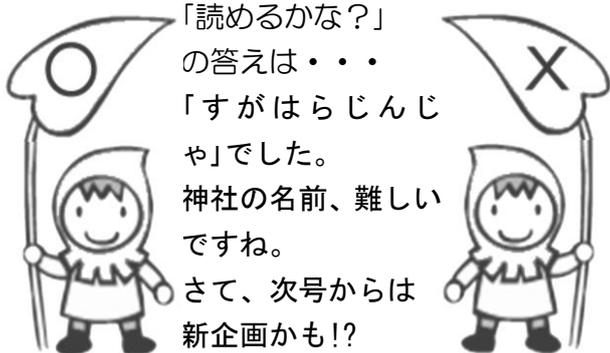
要約筆記者実技研修会(手書き・PC) 1/28

「確認しよう！ 要約筆記の技術と理念」

登録者合同研修会 2/2

「今後、手話通訳者・要約筆記者に望むこと」

今年度予定していた研修会は、すべて終了しました。みなさん、お疲れさまでした。



「読めるかな？」

の答えは・・・

「すがはらじんじや」でした。

神社の名前、難しいですね。

さて、次号からは新企画かも!?

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
12月	派遣数	305件	19件	15件	15件	13人	50本
	派遣人数	311人	44人	28人	44人	新規登録者：0人	
1月	派遣数	249件	24件	14件	8件	30人	68本
	派遣人数	265人	60人	26人	30人	新規登録者：0人	

ご協力ありがとうございました

